



家庭や地域と共に「**A** **I** が飛び交う学び場」をすべての子どもたちに



はばたき NO.24

— 2023年度 横手市立横手北小学校 学校報 —

令和5年 9月25日発行

ゲストティーチャー大活躍

子どもたちに、より興味をもって取り組んでもらったり、より専門的な知識や技術を身に付けてもらったりするために、指導者として学校にお招きし、教師と一緒に授業を行ってくださる方々を「ゲストティーチャー」と言います。

専門的な知識や様々な趣味をもつ人、それぞれの職場で頑張っている人など、その道の専門家が語る言葉は、「生きた」「本物の」体験や情報として子どもたちに受けとめられ、同じことを教師が教えるときよりも子どもたちが意欲的になると言われています。

本校でも、年間を通じて、様々な場面で地域やご家庭の方々などをゲストティーチャーとしてお招きし、授業に参加していただいています。特に、先週は多くの授業に協力していただきましたので紹介します。

ゲストティーチャーの皆様には、お忙しい中、子どもたちのために時間を割いてお越しいただき、本当にありがとうございました。



5年生：家庭科

5年生の家庭科では、学校支援ボランティアに登録していただいている家庭や地域の方々にご協力いただき、2日間にわたり4時間お越しいただき、ミシンの使い方を教えてもらいました。

たくさんのゲストティーチャーのおかげで、それぞれの技量に合わせてきめ細かく教えてもらいました。子どもたちには、完成したエプロンを使ってお家でのお手伝いも頑張ってもらいましょう。



1年生：図画工作科

1年生では、初めて授業で使用する絵の具セットの使い方を、絵の具セットを販売している会社の方を仙台市からお招きして教えてもらいました。道具の置き方から始まり、細かく仕切られているパレットの使い方、筆の洗い方など分かりやすく教えてくださいました。子どもたちは、青と白の絵の具で、青空を塗る作業も行いました。教えてもらったことをいかして、この後、どんな絵を描いてくれるのか楽しみです。



4年生：総合的な学習の時間

4年生は、横手市社会福祉協議会の協力のもと、車いすを使って生活しているの方々からお話を聞く授業を行いました。「福祉」について考える総合的な学習の時間の一環です。普段の学校生活で頑張っている「あいさつ」は、身体に障がいをもっている方々と接していく上でも大切だということなど、たくさんのことを学んだ一時間になりました。「福祉」について、子どもたちがどんなまとめをするか楽しみです。

地域は私たちの学びの場

ゲストティーチャーを招いて行う授業と同様、学校から出かけて行う校外学習も子どもたちが興味をもって取り組む学習活動です。

3年生は、9月13日、19日、社会科の「火事からまちを守るしごと」の学習で各クラスごとに横手市消防本部の見学に行ってきました。建物の中や消防車などに積まれている装備を見せてもらうだけでなく、煙が充満した建物から避難する体験もさせてもらいました。多くの人たちの努力のおかげで、自分たちが安全な生活を送ることができていることなどを実感できた体験になったようです。はしご車のはしごの高さには、みんなビックリしていました。



わたしの HIRAMEKI を形にしました

夏休みの作品の中から理科に関する作品を「第48回横手市児童生徒理科作品展」に出展しました。その結果が届きましたのでお知らせします。受賞したみなさん、おめでとうございます。

【低学年の部】

優 秀 賞	1年3組	A	R	さん「ふうりん」
”	2年2組	S	M	さん「ピタゴラスイッチ」

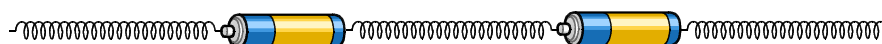
【中学年の部】

優 秀 賞	3年2組	W	K	さん「空気ほう」
”	4年2組	T	R	さん「夏のろか器」

【高学年の部】

最優秀賞	5年2組	T	Y	さん「当てまShow！」
”	6年2組	F	H	さん「イライラ棒」

高橋侑聖さんの作品は、江戸時代の将軍の絵を正しく並べると、宝箱が出てくるものでした。どういう仕組みなのか先生たちも考えさせられました。この作品は、横手市で唯一、県の発明展に出品されます。



学校で見つけた北小キッズの「いいね」⑧

校外活動のときも「自分から」!

9月20日(水)、浅舞公民館で「第34回横手市小学校社会科研究発表会」が行われました。後日、発表会の「小学校5年生部会」を運営していた他校の先生から学校に電話がありました。「北小の子どもたち、すごいですね」から始まった電話の内容は、本校からこの部会に出場した4人の子どもたちが、全部の発表が終わった後、自分たちから積極的に会場の後片付けを手伝ってくれてとても感動したというものでした。また、その態度がとても明るくさわやかで、見ていてうれしい気持ちになったとも言ってくれました。

本校が目指す子どもの姿は「自分から・誰とでも・じっくりと」です。今回、学校外でも、子どもたちが、周囲のために何ができるかを自分たちで考えて行動していたことを知り、とても嬉しく感じました。

※発表会の結果は、主催者側から正式な連絡をいただいた後、学校報で紹介します。